

## 腹部超音波検査

お腹の表面から超音波を当て、体内の臓器を画像化し、主に肝臓、胆のう、腎臓、すい臓、ひ臓に異常がないかを調べる検査です。

偏った食生活や運動不足などが原因といわれている生活習慣病との関連が強い脂肪肝や胆石、胆のうポリープの発見に非常に有効です。

また、自覚症状が乏しく、一般的な血液検査では発見しにくい早期の肝臓や腎臓、すい臓のがんも見つけることができます。



腹部超音波の所要時間は10分から15分程度で、人体に無害で痛みもありません。

●一般健診や特定健診と併せて検査することをおすすめします!

## 眼底カメラ検査

眼底は人間の体の中で、直接的に血管を観察できる唯一の場所です。緑内障や白内障の診断だけでなく、高血圧症や動脈硬化の程度もわかります。

### こんな方におすすめ

- ☆物がかすんだりぼやけて見える
- ☆血縁者に緑内障の人がいる
- ☆強度の近視



## 甲状腺検査(TSH)

健診時に採取した血液で併せて検査できます

脳から分泌される甲状腺を刺激するホルモンです。このホルモンを測定することで、甲状腺の働きが正常かどうかを調べることができます。

甲状腺の働きに異常があると、様々な障害が出てきます。動機や息切れ、疲れやすい、体がだるい、気力がない等の症状がある方は、一度検査されることをおすすめします。

異常値の場合は・・・

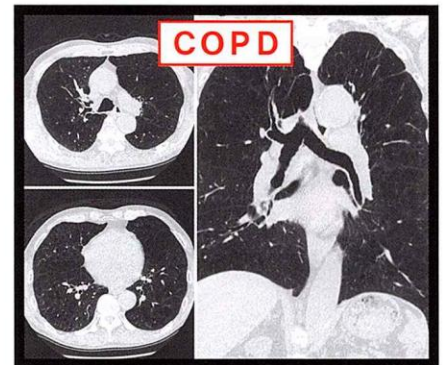
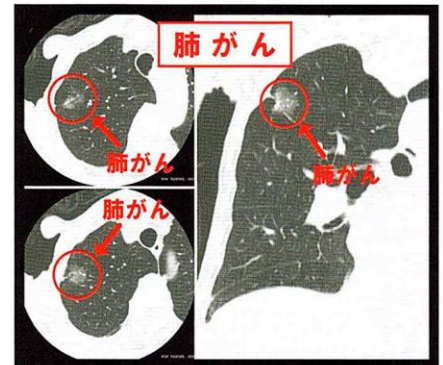
バセドウ病や橋本病などの甲状腺の病気が疑われます。

## 胸部CT検査

肺がんは、気管や気管支、肺胞の細胞が正常機能を失い、無秩序に増えることにより発生します。

CT検査では、大きさ数mmのごく早期の肺がんを見つけることが可能です。また、喫煙によるCOPD（肺気腫など）や胸部X線検査では診断の難しい病気も早期に見つけることができます。

早期発見、早期治療は、肺がんやCOPDの治療にとってとても重要です。



### こんな方におすすめ

- ☆せきがなかなか治らない
- ☆痰に血が混じる
- ☆年齢が50歳以上
- ☆喫煙の習慣がある
- ☆粉じんの多いところで仕事をしていた
- ☆家族(血族)に肺がんの方がいる

タバコを吸われる方は肺がんやCOPDのリスクが非常に高くなっています。  
発症予防の第一歩は禁煙です！

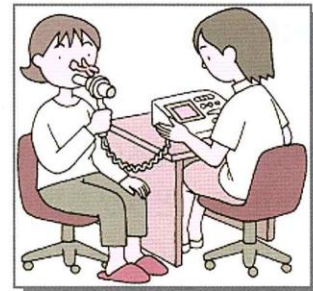
## 肺機能検査(スパイロメトリー)

肺に出入りする空気の量や、吐き出す速度を測定して肺の動きをチェックする検査です。

検査方法は簡単ですが、喫煙習慣によって気づかないうちに進行しているCOPD（肺気腫など）のほか、気管支喘息や間質性肺炎などの診断や息切れの程度を客観的に知る上で、大変役に立つ検査です。

### こんな方におすすめ

- ☆タバコを吸われる方
- ☆息切れしやすい方
- ☆せき・痰の多い方



## 血圧脈波検査 (ABI/PWV)

動脈硬化の程度と足の動脈の詰まりを調べる検査です。  
動脈硬化は、心筋梗塞や脳梗塞などを引き起こす要因となり、知らないうちに進行します。  
動脈硬化を早期発見し予防することが大切です。



測定時間はわずか10分。  
両手両足の血圧脈波を同時に測定するだけの検査です。

### こんな方におすすめ

- ☆太っている方
- ☆高血圧の方
- ☆高脂血症の方
- ☆タバコを吸っている方
- ☆足の冷感や痺れ感のある方

## 腫瘍マーカー検査

### 前立腺検査A (PSA検査)

健診時に採取した血液で併せて検査できます

前立腺がんは50歳以上で年齢が高くなるにつれて発症率が高くなり、近年増加傾向にあるがんとして注目されています。前立腺がんは、早期にはほとんど自覚症状がないため進行してから発見されるケースも少なくありません。

**PSA検査では、症状のない早期のがんも発見可能です。**

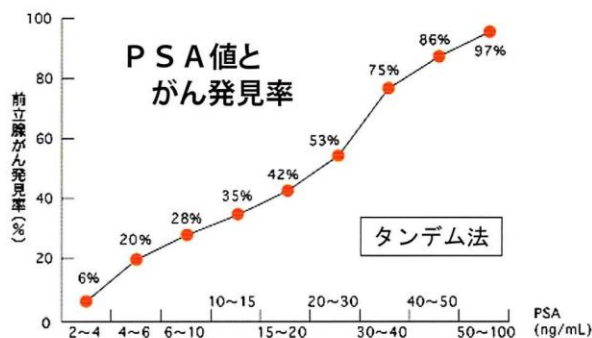
簡便で精度の高いPSA検査をおすすめします。

年齢とともにPSAの値が上がり  
前立腺がんのリスクが高くなります。  
年に一度はPSA検査を!



### こんな症状は出ていませんか!?

- ☆おしっこが出にくい
- ☆何度もトイレに行く
- ☆全部出ていない感じがする
- ☆おしっこに血液が混じっている



※当センターでは高感度PSA (ECLIA法)で測定しています。

●家族歴のある方は40歳からの受診をおすすめします。

腫瘍マーカー検査

## CA19-9 (すい臓がんなどの検査)

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

すい臓、胆道系のがんで血液中に増加することから、主にすい臓がんのスクリーニング(ふるいわけ)検査として用いられています。

すい炎や胆道系の炎症でも増加することがあります。

### 数値が高いと・・・

すい臓がんや胆道系のがんが疑われますが、その他に大腸がん、肺がん、卵巣がんなどでも高値を示すことがあります。

腫瘍マーカー検査

## AFP (肝がん検査)

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

もともとは妊娠早期の胎児にみられる血清蛋白の一種で、健康な人の血液にはほとんど含まれません。肝臓がんになると血液中に増加するため、肝臓がんのスクリーニング(ふるいわけ)検査として用いられます。

### 数値が高いと・・・

肝細胞がん、肝硬変、慢性肝炎などが疑われます!

腫瘍マーカー検査

## CEA (消化器がんなどの検査)

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

もともとは胎児の消化器組織だけに見られる蛋白の一種ですが、消化器系がん患者の血液に多いことから、これらのがんのスクリーニング(ふるいわけ)検査として用いられています。糖尿病やタバコでも軽度上昇することがあります。

### 数値が高いと・・・

消化器系のがん(大腸がん・胃がんなど)が疑われますが、その他に乳がんや肺がんなどでも高値を示すことがあります。



上記3項目と前立腺検査A(4ページ)については腫瘍マーカー検査で、がんになると増加する血液中の蛋白を検出する検査です。異常高値でがんの可能性は高まりますが、正常範囲内であっても、がんの可能性を否定するものではありません。

## BNP検査（心不全の検査）

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

BNP検査は、心臓を守るために心臓から分泌されるホルモンの量を測定する検査です。心臓への負担の程度を大まかに知ることができ、心不全の早期発見につながる有用な検査です。

心不全とは、病名ではなく心臓の機能が低下し全身に十分な酸素を送ることができず、心臓へ負担がかかっている状態のことを言い、その原因は様々で心肥大や不整脈、糖尿病や生活習慣の乱れ、ストレス等も危険因子としてあげられます。

### こんな方におすすめ

- ☆すぐに息切れする
- ☆少し動いただけで疲れる
- ☆体がむくみやすい
- ☆高血圧の方
- ☆タバコを吸われる方



## 梅毒検査（TPLA・RPR）

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

梅毒は、皮膚や粘膜の小さな傷から体内に病原体が侵入することで感染します。日常生活においては、性行為以外で感染することはほとんどありません。

感染の初期には、感染した部位にしこりができたり、股の付け根のリンパ節が腫れることがあります。ただし、痛みがないことも多く自然に症状は治まりますが、病原体がいなくなったわけではありませんので、他の人うつす可能性があります。感染の可能性がある場合は、検査されることをおすすめします。



## HIV検査

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

HIV検査はエイズ（後天性免疫不全症候群）の原因ウイルスであるHIVに感染しているかを調べる検査です。主な感染源は性的感染や血液感染、母子感染で、感染すると免疫力が落ち、普段は感染しない病原体に感染しやすくなり、様々な病気を発症しやすくなります。

日本で初めて感染が報告されたのは1985年で、今でも年間1,500件前後の新規感染が報告されています。

今のところHIVを完治させることはできませんが、治療方法と薬は日々進歩しており、発症を抑えて変わらぬ生活を送ることができますので、早期発見、早期治療が重要です。

梅毒とHIVは、性的感染が主な感染源となっていることから、ご心配な方は併せて受診されることをおすすめいたします。

# ヘリコバクターピロリ菌検査

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

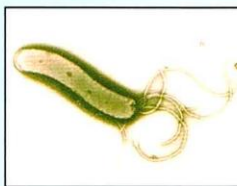
## 中高年は高確率で感染しています。あなたは大丈夫!?

ヘリコバクターピロリ菌とは、胃粘膜に感染し住みつく細菌で、胃十二指腸潰瘍と深い関係があります。また、ピロリ菌感染により慢性活動性胃炎を生じ、長期になると萎縮性胃炎を引き起こします。慢性萎縮性胃炎から胃がんになる可能性もあるため、胃がんの発症とも関わってきます。

※過去にピロリ菌の感染歴がある方については、受診することができません。  
また、血液での検査のため、除菌後の成否確認には使用できません。



### こんな方におすすめ



- ☆胃潰瘍・十二指腸潰瘍になったことがある
- ☆胃部に不快感がある
- ☆胃がんが心配

# 胃粘膜萎縮検査(ペプシノゲン)

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

胃粘膜の萎縮の程度を調べる検査です。胃粘膜の萎縮がある程度進む(慢性萎縮性胃炎がある状態)とペプシノゲン検査は陽性になります。慢性胃萎縮性胃炎は胃がんの発生と密接な関係を持っています。

ペプシノゲンにより胃粘膜萎縮の程度を調べることで、胃がんを効率的に発見できると考えられています。

### 異常値の場合は・・・

胃粘膜の萎縮がある程度進んでいる(慢性萎縮性胃炎がある)と考えられます。胃部内視鏡(胃カメラ)による精密検査を受けてください。

# ABC検診(胃がんリスク分類)

上記のヘリコバクターピロリ菌検査と胃粘膜萎縮検査を行い、その結果の組み合わせから胃がん発生のリスクを分類し評価する検診です。ABC検診は、今後胃がんになりやすいかを判断するもので、胃がんが見つかる検診ではありませんので、胃部X線検査とあわせて受診することをおすすめします。(胃部内視鏡検査を受けられる方は併用できません。)

また、ピロリ菌除菌後の方は、正当な評価ができませんので受診することができません。定期的な胃部内視鏡検査をおすすめいたします。

### ABC検診の判定

ピロリ菌検査	—	+	+	—
ペプシノゲン検査	—	—	+	+
胃がん発生の危険度	低  高			

## 睡眠時無呼吸症候群検査

睡眠時無呼吸症候群とは、睡眠中に何度も呼吸が止まったり浅くなったりする病気です。十分な睡眠がとれないために、日中に強い眠気を生じます。

また、睡眠中に呼吸が止まり酸素不足になることで、高血圧、糖尿病、動脈硬化を引き起こしやすくなります。決して眠たくなるだけの病気ではありません。

### 検査方法

専用の検査機器を貸し出し、ご自宅で検査します。

一晩センサーを装着し、睡眠中の呼吸状態を記録します。

※ 1泊2日ドックの方は宿泊時の検査となります。

### 実施日

健診当日に貸し出し、翌日に検査機器を返却していただきます。

※ お申し込みは健診日の1週間前までをお願いします。



## 脳ドック検査

三大生活習慣病の1つ「脳卒中」予防のため脳ドック検査を受けましょう。

### 脳卒中の危険因子を多く持っている人

- ★家族が脳卒中になった人
- ★肥満体の人
- ★高血圧症の人
- ★お酒を多く飲む人
- ★血糖値が高い人
- ★タバコを吸う人
- ★コレステロール・中性脂肪が高い人

### 検査方法

- MRI (磁気共鳴装置を使つての脳の断層画像)
- MRA (磁気共鳴装置を使つての脳の血管撮影)
- 頸動脈超音波

※ 検査は健診日の午後からとなり、昼食もご用意しております。

体の健康は脳から!

### 注意事項

- 心臓ペースメーカーを使用されている方は受診することができません

下記の該当する方は受診できない場合がありますのでご相談ください。

- 体内に金属が埋め込まれている方
- 妊娠中または妊娠の可能性がある方
- 暗所・閉所恐怖症の方
- 刺青・アートメイク・金属を含む化粧品(マスカラ等)をご使用の方
- 過去に外科的手術を受けたことがある方

## 骨密度検査（DEXA法）

骨塩（骨の中のカルシウム、リンなどの総称）の量を測定し、骨の強度を測定します。当センターでは、DEXA（デキサ）法というX線を用いて検査する方法で、前腕部の骨密度を測定します。女性の方の場合は更年期（閉経）をむかえると女性ホルモンの低下によって、男性より急速に減少するため、骨粗しょう症になりやすくなります。

### こんな方におすすめ

- ☆女性の方
- ☆ご家族で骨粗しょう症の方がいる
- ☆骨粗しょう症が心配な方

## アレルギー検査

くしゃみや目のかゆみ、皮膚の湿疹・・・。「これってもしかしてアレルギー？」と思ったら、アレルギー検査をおすすめします！

### ●花粉セット（花粉症の原因の代表的な4項目を検査します）

ハンノキ・シラカバ・カモガヤ・ヨモギ



### ●屋内系セット（日常生活で発症する原因アレルゲン4項目を検査します）

ハウスダスト1・コナヒョウダニ・ガ・カビ6種類（※マルチアレルゲン）

※アルチアレルゲン：6種類のカビのどれか1種類でもあれば陽性となります。



### ●View39

下記の39種類のアレルギーを一度に調べることができます。

室内塵や花粉、食品表示義務7品目を含むアレルギー性疾患の主要な原因アレルゲンが網羅されています。



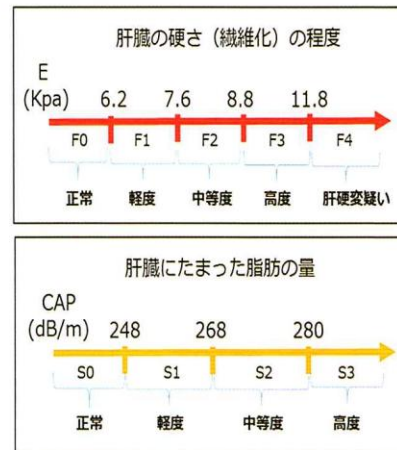
吸入系 その他アレルゲン		食餌系アレルゲン	
室内塵	ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト	卵	卵白、オボムコイド
動物	ネコ、イヌ  	牛乳	ミルク  
昆虫	ガ、ゴキブリ 	小麦	小麦 
樹木	スギ、ヒノキ、ハンノキ、シラカバ	豆・穀・種実類	ピーナッツ、大豆、ソバ、ゴマ、米
草本類	カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、ヨモギ	甲殻類	エビ、カニ 
空中真菌	アルテルナリア（ススカビ）、アルペルギルス（コウジカビ）	果実	キウイ、リンゴ、バナナ 
真菌その他	カンジダ、マラセチア、ラテックス	魚・肉類	マグロ、サケ、サバ、牛肉、鶏肉、豚肉 

# フィブロスキャン検査

脂肪肝などの慢性肝疾患では、病気が進行すると肝臓が線維化を起こしやすくなります。

フィブロスキャンでは、肝臓に振動を与え、伝わる速度を測定し数値として肝臓の硬さを推測するとともに、超音波の減衰も測定して肝臓の脂肪化量を推測します。

検査時間は5～10分程度で、検査機器を腹部に当てるだけの簡単な検査で、痛みなども全くありません。



## 肝臓検査セット

脂肪肝と指摘されている方や、肝臓の状態をより詳しく検査したい方は「肝臓検査セット」をおすすめします。

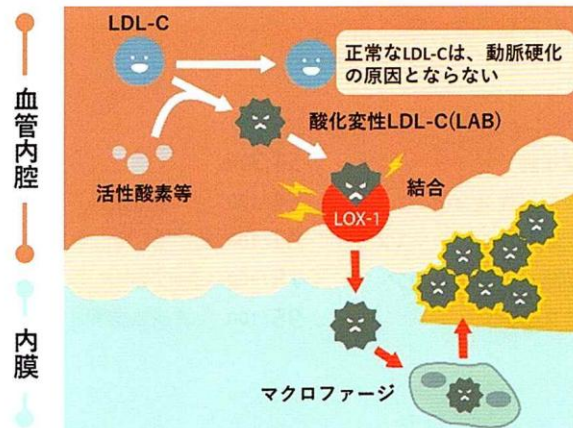
- フィブロスキャン検査
- 腹部超音波検査
- M2BPGi検査（血液検査）

※肝臓の線維化の進展にともなって変化するタンパク質上の糖鎖構造をとらえ判定するマーカー検査で、病院の精密検査の際にも使われる検査項目です。

# LOX-1 INDEX (脳梗塞・心筋梗塞 発症リスク検査)

健診時に採取した血液で併せて検査できます

LAB（サビついたLDL）とLOX-1というタンパク質の2項目を測定して脳梗塞や心筋梗塞の発症リスクを検査します。LABとLOX-1が結合すると血管の壁にダメージを与え、血管内に脂質が溜まりやすくなり動脈硬化が発生します。この検査をすることで、現在の発症リスクがどのくらいあるのかを4段階で判定することができます。

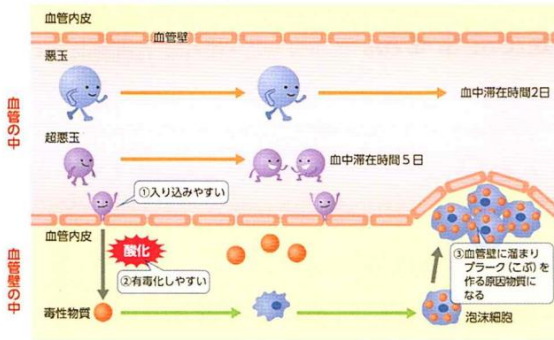


# 超悪玉コレステロール

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

健診結果でLDLコレステロール（悪玉コレステロール）が基準範囲内でも動脈硬化が進みやすい人がいます。その主な要因は小型の悪玉「超悪玉コレステロール（スモールデンスLDLコレステロール）」の量だということが近年わかってきました。超悪玉は血液中に長くとどまりやすいうえ、通常の悪玉よりも小さいため血管壁に入り込みやすく有毒化もしやすい性質を持っているため、動脈硬化を起こしやすくなります。

悪玉が動脈硬化を起こすまで



## 一般的に超悪玉コレステロールが多い方

- ☆ご自身または家族に狭心症や心筋梗塞にかかったことがある
- ☆血圧が高い
- ☆中性脂肪値が高い
- ☆血糖値が高い
- ☆内臓脂肪型肥満がある
- ☆善玉(HDL)コレステロール値が低い

# 体組成測定 (Inbody)

体を構成する基本成分である体水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪を定量的に分析し、栄養状態に問題ないか、身体はバランスよく発達しているかなど、体成分の過不足を価する検査です。

InBody 測定で健康管理をしていきませんか？

※ペースメーカーを使用している方は測定できません。



## この測定でわかることは・・・？

InBody		InBody	
性別	年齢	性別	年齢
男性	51	男性	51
身長	156.9cm	身長	156.9cm
測定日時	2021.05.04 09:46	測定日時	2021.05.04 09:46

① 体成分分析		② 体脂肪分析	
体脂肪率	27.5	体脂肪率	31.7%
体脂肪量	27.5kg	体脂肪量	10.9kg
体水分率	72.5	体水分率	68.3%
体水分量	72.5kg	体水分量	26.6kg

③ 筋肉・骨格		④ 骨密度	
筋肉量	25.1kg	骨密度	0.810
骨格量	25.1kg	骨格量	25.1kg

⑤ 体水分分布		⑥ 骨密度分布	
体水分率	65.2	骨密度	0.810
体水分量	65.2kg	骨密度	0.810

- 筋肉と体脂肪のバランス  
体重・筋肉量・体脂肪量により体型のタイプがわかります。
- 各部位の筋肉バランス  
体を5つの部位(両腕・体幹・両脚)に分けて測定し、上下左右の筋肉のバランスが崩れていないかなどを評価します。
- 筋肉量と筋肉の質  
健康な体は筋肉量が多いだけでなく、筋肉を構成する体水分の均衡が維持されることで、筋肉の質を保ちます。細胞外水分比から筋肉の状態をより正確に評価できます。

# 血液健康スコア

健診時に採取した血液  
で併せて検査できます

250項目の血液データを測定し、5つの健康指標にスコア化してご自身の体の現状を確認することができます。健康指標ごとに生活改善アドバイスが記載されていますので生活習慣の改善に役立ちます。



心臓年齢	51.3 歳	
糖尿病耐性スコア	54/100	要改善
コレステロールバランススコア	82/100	良好
脂肪酸バランススコア	78/100	改善の余地あり
炎症スコア	95/100	非常に良好

## 5つの健康指標

- ①心臓年齢**  
実年齢に対する循環器系の状態
- ②糖尿病耐性スコア**  
身体の細胞へのエネルギー取り込みと消費の状況
- ③コレステロールバランススコア**  
身体のコレステロール供給と回収の状況
- ④脂肪酸バランススコア**  
血液中の「良い脂肪酸」と「悪い脂肪酸」の比較
- ⑤炎症スコア**  
身体で慢性的に起きている低レベルの炎症の状態  
※ストレスや睡眠の質、肥満などによって慢性的な炎症が起こされます。

# 認知機能検査

書面による認知機能テスト（MMSE）とMRIによる画像診断を組み合わせ、アルツハイマー型認知症の診断支援を行う検査です。

## <MMSE（ミニメンタルステート検査）>

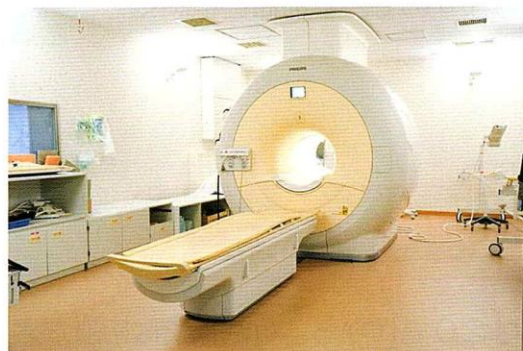
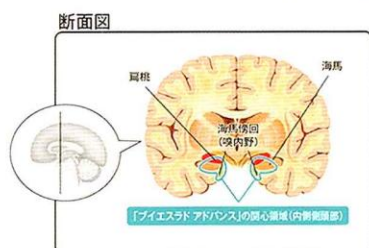
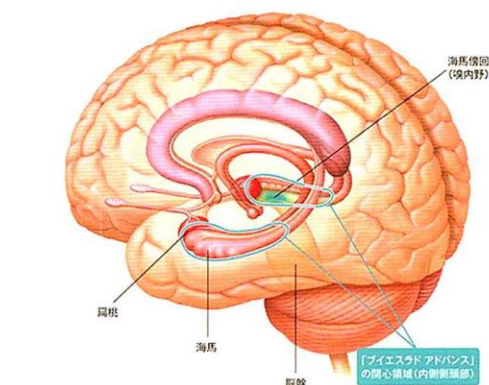
世界的に最も広く使用されている認知症のスクリーニングテストで、11項目の質問を口頭で行い、その結果を30点満点で評価するものです。検査時間は10分から15分程度です。

## <MRI・VSRAD>

MRIでは通常の検査方法のほか、VSRADという専用の解析ソフトを使用し、脳の萎縮、特に海馬と海馬傍回、扁桃という記憶に関わる部分の萎縮の程度を調べる検査です。

脳の萎縮は加齢とともにゆっくり進行するため発見が遅れることが多いため、アルツハイマー型認知症の場合、もっとも早期に萎縮が始まる海馬傍回付近をみることで早期発見につなげることができます。

この検査は50歳未満の方では個人差が激しく、判定の信頼度が下がるため、検査することはできません。



### 注意事項

MRI検査は身体状況により受診できない場合があります。詳細は7ページ下段の注意事項をご確認ください。

### 次のような症状がある方におすすめ

- ☆同じ話を繰り返す
- ☆知っている人の名前を思い出せない
- ☆物のしまい場所を忘れる
- ☆漢字を忘れる
- ☆今しようとしていたことを忘れる
- ☆理由もなく気がふさぐ
- ☆身だしなみに無関心になる
- ☆外出がおっくうになる
- ☆物が見当たらないことを他人のせいにする

## 乳がん検診

# マンモグラフィ検査

※自覚症状（痛み・しこり・異常分泌等）がある場合や、医師の判断により視触診を実施いたします。

## 乳がんは女性（40～60代）の“がん”死亡原因のトップです

乳がんは日本人女性の16人に1人がかかり、年間約1万人を超える方が亡くなっています。乳がんは残念ながら防ぐことが出来ない病気ですが、早期発見と治療で約90%の方が治る時代です。そのためには定期的に検診を受けることがとても大切です。

### 検査方法

乳房を圧迫して乳腺を薄く引き伸ばし撮影します。そのため痛みを伴う検査ですが、そうすることで乳腺に隠れているしこりを発見でき、放射線被ばく量も減らすことができます。撮影は女性技師が担当します。

### 注意事項

ペースメーカーや埋設型除細動器、豊胸手術、妊娠中もしくは妊娠の可能性、授乳中の方は検査できない場合がありますので、事前にご相談ください。



【正常な乳房】



【悪性を疑う腫瘍】

## 乳がん検診

# 乳房超音波検査

乳腺は20歳代から40歳代では密度が濃く、マンモグラフィ検査では発見が困難なケースもありますが、**超音波検査は乳腺の密度にほとんど影響されことなく検査をすることができます。**超音波検査では、触診ではわからない数ミリの腫瘍（しこり）を見つけたり、しこりの性状が詳しくわかります。より精度の高い検診の為に、マンモグラフィ検査と併せて超音波検査をすることをおすすめします。

※単独でのお申込みはできません。マンモグラフィ検査とセットでお申し込みください。

### 検査方法

ベッドに仰向けになった状態で、乳房にゼリーを塗り超音波機器を皮膚に当て乳房内部を観察します。痛みはなく体への負担もありません。検査は女性技師が担当し15分程度で終了します。



## 腫瘍マーカー検査

# CA125（卵巣がん検査）

健診時に採取した血液で併せて検査できます

健康な人の血液には、ごくわずかしこ存在しない糖蛋白たんぱくの一種が、卵巣がんになると血液中に増加するため、卵巣がんのスクリーニング（ふるいわけ）検査として用いられています。数値が高いと卵巣がんが疑われますが、そのほかに子宮がんや肺がん、すい臓がんでも高値を示したり、子宮内膜症や子宮筋腫でも増加することがあります。

※生理中の場合は検査値が高くなる場合があります。

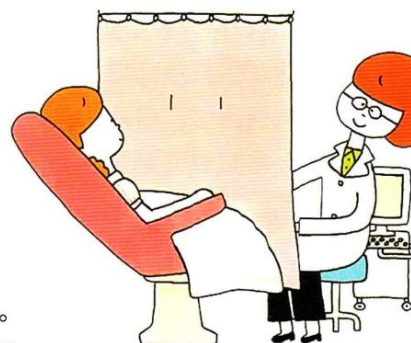
## 子宮がん検診

### 子宮頸部がん検診（細胞診）

子宮頸部がんは、HPV（ヒトパピローマウイルス）の持続的な感染が主な原因となって子宮頸部にがんが発症します。子宮頸部がんは20歳から30歳代での発症が年々増加している傾向にあります。初期症状がほとんどなく、自覚症状が現れる頃には進行していることも少なくありません。

定期的に検診を受け、早期発見、治療することが重要です。

検査は専用のブラシで子宮頸部の粘膜をこすり取って細胞を採取します。少量の出血を認めることもありますが、痛みも少なく数分で終了します。



## 子宮がん検診

### ヒトパピローマウイルス(HPV)検査

子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルスの感染が主な原因です。このウイルスは性交渉の経験がある女性であれば、ほとんどの人が一度は感染しますが通常は自然に体から排除されます。ところが、うまく排除されずにウイルスが長期間残った状態が続くと、子宮頸部がんへと進行してしまうことがあります。

#### 子宮頸部がんは予防できます！

ヒトパピローマウイルス検査で、将来子宮頸部がんになる危険性があるかがわかります。子宮頸部がん検診で異常がなくても、このウイルスに感染している場合は、定期的に検診を受けることで細胞の変化を早期に発見することが可能となり、子宮頸部がんを予防することができます。

※単独でのお申込みはできません。子宮頸部がん検診とセットでお申し込みください。

※生理中は検査ができませんので、生理を避けてお申し込みください。

※性体験（性行為）がない方には一般的にはお勧めしておりません。

## 腫瘍マーカー検査

### ROMA検査（卵巣がん検査）

健診時に採取した血液で併せて検査できます

卵巣がんは40歳代から増加し、50歳代から60歳代の方が多く、自覚症状がないため症状が現れた時には進行していることも少なくありません。

ROMA検査は、CA125とHE4という2つの異なる腫瘍マーカー検査と閉経情報を組み合わせて判定することで、卵巣がんに対する精度が高まり早期発見に役立つ検査です。

子宮頸部細胞診検査を受診される方も、卵巣がんでは発生部位が違いため、あわせて検査することをおすすめします。

- 生理中や授乳中、ピル、ホルモン剤を服用していても検査できます。
- 妊娠中は数値に影響があるので検査することはできません。